

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスNia			
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7 3月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7 3月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習特化型の取り組みで提供しており。 学校の集団学習ではついていけない児童へ個別・復習学習でわからない所からわかるまで取り組むことで、 本来学校では理解できなかった所を習得することができる。	学校で教える全科目に着手するのではなく、 特性を理解し苦手科目・強み科目など必要に応じた科目を 職員間で共有しプログラムを作成する。	勉強を通じて将来の目標などが生まれた場合は、 目標を応援し受験や進路など児童の幅広い選択しの サポートができるように、各学校と連携を強めていく。
2	将来の社会に出ることを目標しており 児童の特性を理解し、学習の必要性を理解した上で 勉強から自立支援へのプログラムシフト変更することができる。	道徳を学ぶ時間や職業体験など、より社会性に必要な スキルを学ぶ取組を進めている。	地域支援にも力を入れており、地域の事業さんとの 連携も増やしていき、就労先などのサポートにも努めて いきたい。
3	学習特化型の取り組みで提供しており。 近隣の学校とは日々連絡を取っている。 そのため不登校児童やイジメ問題などへの支援も行っている。	児童が通う学校にはアプローチを取っており 学校で会議を定期的に行っている。	現在小学校・中学校が中心であるが高校や通信・専修など も連携を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学習特化型でのサービス提供なのである程度 机に向かうことのできる児童が集まる。	支援プログラムが学習を中心に組まれているので 学習意欲の少ない児童には面白くなく利用に繋がらない。	特になし。 殆どの児童が学校の勉強を理解したいという子が 利用しており、学習ニーズのカテゴリーで 利用してもらうことで、 児童も集中しやすくお互いの協力関係も生まれる。
2			
3			